中川の文化財、石碑群マップ

中川とは：
横浜市泉区岡津町周辺は、鎌倉時代には、鎌倉八幡宮の伊勢田であった岡津郷であり、縄文時代以降の遺跡、遺物、土師器等が発見されていた歴史ある町である。
岡津の地名が記録上に初めて、文久7年（1270）鎌倉幕府の執権北条時宗と北条政村から下総国「岡津郷」である。その頃8丁歩（約9ha）の水田があり、地頭は、中黄三郎長成であった。明治11年に群区町村制施行により、この地は鎌倉郡となり、その後明治22年に近隣の各村が合併して「中川村」が誕生した。村の中央に阿久和川が流れていたので「中川」と命名された。現在は97,200世帯2万人が生活する町である。

凡例：
- 中川連合町内会の境界
- 主要幹線道路
- 河川
- 文化財、石碑群
- 大山道
- 公園

2013年9月4日作成
2014年12月19日一部追加
横田 勝

㉑ 富士塚：向善寺の裏山にある小の塚は、富士山を信仰する人々であった富士講の人々が、富士山の遥拝所として、また信仰の対象として富士山を模した人工の富士塚を作った。塚の頂には不動尊がある。

㉒ 浄土宗徹底山向善寺：宗祖知恩院の末寺で、奮迅社知恩上人の開山といわれる。上人が慶化元年（1862）というから、寺の創建はそれ以前と考えられる。寺の裏山に小富士塚があり、寺の本尊木造阿弥陀如来座像は鎌倉中期作品と推定される。

㉓ 上地の小神社

㉔ 西の地区西願寺、庚塔碑、記念碑：この周辺には"鬼城"が多い。シンボルツリーとして鬼ガ木が植栽されていて鬼ヨケの風習を表わしている。

㉕ 大地神社：慶応3年（1867）建立である。この年は慶喜が大政奉還し、明治天皇が即位した年である。

㉖㉗ 大山道案内板：大山は、丹沢山塊の東端、雨降山1252mのふもとにあり、その麓に大山阿夫利神社の本宮があり、中川地区は大山道が通っている。

⑯ 西の橋上から阿久和川下流を望む。鯉が放流され、青鷺がよりをついばみ、カモが遊んでいる。

⑱ 石碑群：鶴瀬地区の区民館建設に伴って数ヶ所にあった石碑が集められ、中川地区センターの駐車場あたりの地に設置された。4基のうち最古のものは寛文10年（1670）とある。

① 祐社三嶋神社：祭神は大山祇命で、創建は和銅6年（713）。相模国風土記の中郡郡内村の岡津三嶋神社である。

② 普光寺：鎌倉時代の山寺で、寺号は普光寺。稱名の鐘文から後禄3年（1459）の創山。これより以前、和尚の寺創建はそれより早い。

③ 普光寺：寺号は時宗、開山は石谷弥門は文治2年（1364）開山と寺伝を伝え、近隣の寺院を数え上、鶴岡八幡宮の別当寺を勤め、岡津郷を含む周辺を、祐社三嶋神社と代々支配した。

④ 鶴亀山心願寺永明寺：創建は後禄4年（1459）創建、開山は開基と伝聞される。

⑤ 西願寺：鎌倉時代末期、日蓮宗の寺で、創建は約700年前。本尊は日蓮上人の作と伝えられる。

⑥ 小神社：本殿彫刻の石獅子は寛政5年（1464）の建立である。

⑦ 小神社：昭和61年10月土地区画整理事業により地区に移転。寛政年間の石碑が、天保14年建立。

⑧ 寛永寺：鎌倉時代末期の創建。本尊は不動明王。安永4年、不動尊の石像、開基大覚僧の別当寺、移転。その後本殿が現地に再建された。

⑨ 来迎寺：

⑩ 石碑群：8基の石碑が並ぶ。最古のものは天文5年（1540）の建立銘がある。

⑪ 西の観音堂石造観世音菩薩：明治5年（1872）建立、新しいものは今年建立。

⑫ 川向堂と新稲荷神社：200年建立。

⑬ 西の観音堂の区画整理に伴い集められた数ヶ所にあった石碑を集めたものである。今年で8基目。馬頭観世音と刻、寺社堂塔、不明塔で明治時代建立が最古である。

⑭ 庚塔碑：旧中川地区出身者の供養塔。

⑮ 大山道案内板

⑯ 大山道案内板 ⑮の隣に立つ地神塔：文化15年（1818）の建立である。

⑰ 下鶴瀬橋上から阿久和川の上流を望む。

⑱ 本ほたるが遊歩道：阿久和川沿いの遊歩道、下岡津橋付近。